

会 議 録

会 議 名	かえで義務教育学校開校準備委員会 通学部会 令和7年度 第2回会議
日 時	令和7年10月7日（火） 午後6時30分～午後7時05分
場 所	佐野市立西中学校 1階 第2理科室
出 席 者	<p>【参加者】（15名） 別紙「部会員名簿」のとおり （欠席者2名） （代理1名）</p> <p>【事務局】（計11名） 佐野市教育委員会 学校適正配置課 課長、係長、係員4名 佐野市都市建設部 交通政策課 課長、係長、係員1名</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿 ・ 資料1 通学用バス乗降場所設置の範囲（案）
委員会内容	<p>部会の内容については以下のとおり。</p> <p>1 開 会 司会（学校適正配置課長）</p> <p>2 部会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>（1）通学用バスの運行形態について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回会議で生活路線バスを活用し、登下校時、集合場所からかえで義務教育学校まで直通運行する事務局の案について協議。 ・ 3分間の時間を設けて各学校単位で意見をまとめた。 ・ 取りまとめた意見を学校区ごとに順に発表した。 ・ すべての学校区から事務局提案のとおり進めてよいとの意見。 ・ 協議の結果、事務局の案のとおり決定した。

委員会内容	<p>(2) 通学用バスの乗降場所設置の範囲について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料1を基に説明。 ・部会員からの質疑は以下のとおり。 <p>(部会員1) 赤い線で引かれている円の周辺とのことであるが、前回の会議で距離以外の条件を含めて検討してほしいと伝えたが、乗降場所は次回の会議まで待つてほしいという認識でよろしいか。</p> <p>(事務局) 乗降場所の候補地は、確実にその場所が使用できるか確認中である。現時点でこの場所と説明すると使用できなかった場合、振り出しに戻ってしまうため、申し上げていない。乗降場所は箇所数含めて検討中であるが、1箇所しか設置しないわけではない。ひとつの目安として3km円の外側及び3km円の周辺とするのが今回の説明である。</p> <p>(部会員2) 乗降場所を1箇所又は数箇所にするか、交通状況や児童生徒の住んでいる地域を加味して総合的に判断しているのか。</p> <p>(事務局) 文書等の明確な基準はないが、教育委員会としてバス停を設置する基準のひとつが学校や公民館等の公共用地から選定することである。民地は、トラブルが生じた場合の対応が困難である。また、路線バスの経路のような道端に停車することは、待っている時間や乗降が危険であるため、乗降場所は公共用地から探していくことを基準として検討している。</p> <p>(部会員2) 路線バスを使用するが路上に停車しない認識でよろしいか。</p> <p>(事務局) そのとおり。路線バスを活用するが、登下校時は、こどもを優先し、送迎のため、乗降場所を絞って予約を取って乗車する路線不定期という形である。路線バスのイメージは、道路に点々としているバス停に乗車するが、今回の提案はスクールバスに近い運用である。</p> <p>(部会員1) 旗川地区は、旗川小学校も候補に入れていただきたい。距離は短く、全員乗ることは難しいと考えるが、バスが通るのであれば、一例としてけがや少し調子が悪いこどもが乗車する場所として検討していただきたい。また、3km円を基準ということで検討していると思うが、中学生を対象とした文科省がある団体に委託して調査した研究資料では、通学距離が2</p>
-------	---

	<p>kmを超えるあたりからストレスを感じる結果であった。小学生と中学生は、一步の歩幅が違う。中学生は2 kmを超えるとストレスを感じており、小学生はそれより短い距離でストレスを感じると考えられるため、そのような点を含めて検討してほしい。吾妻地区であれば、ほとんど2 kmを超えてくる。手前に住んでいるこどもたちも乗れるよう検討してほしい。</p> <p>(事務局) 3 km圏を基準に検討しているが、既存の小中学校、義務教育学校とのバランスを考慮しなければならない。各地区の事情があるのは確かなことであるが、現状、他地区の小学校で2 km以上歩いている児童はいる。仮に旗川小学校をバス停にした場合、反対側の赤坂町などはどうするかという話になる。そのため、他の学校区とのバランス、台数、バス停となる場所が適しているかといった点を含め次回の会議で提示していきたい。</p> <p>(部会員3) バスを4台用意する想定と聞いたが、例えば、小中町に1台か2台、高橋町に1台、下羽田町に1台と割り振りをしているか。</p> <p>(事務局) 明確に決まっていないが、3台から4台程度はあくまで想定であり、必要に応じた台数を用意する。先ほど説明した内容を基に旗川小の小中町方面と吾妻地区方面を検討している。</p> <p>(部会員3) バス1台あたりどのくらいの人数が乗るか。また、乗車する児童の想定される人数は。</p> <p>(事務局) どこで乗降するという話と絡んでくるため確実なことは申し上げられないが、仮に吾妻小学校区は全体で約40人、国道50号以南は30人弱の人数である。その中でバスが道を通れるか、バス停から何人乗車するかといった点を含めて検討している。</p> <p>(部会員3) 通学用バスの導入は、すべてのこどもに対して提供することは難しいと思うが、有効活用していただきたい。</p> <p>(部会員4) バス停をどこに設置するかという話でよろしいか。どの範囲のこどもたちがバスに乗るかはこれから先の検討事項か。</p> <p>(事務局) 補足すると、かえで義務教育学校から1番近いバス停をどこに設置するかという話となる。学校から最も近いバス停を最終バ</p>
--	---

ス停と説明するが、最終バス停やほかのバス停の位置を決めた後、そこまで来れるお子さんは乗ってよい形をとることを考えている。例えば、3km円のところにバス停を設置した場合、円の内側も外側もバスに乗ってよい形である。過去の統合で通学用バスを導入する際、最終バス停を設置した後、ここから先の町内は徒歩と区切った際、バスに乗る子と10mしか差がないのに学校まで歩くのかという意見が多く出た。そのため、学校と反対方向にバス停へ向かうことも想定している。この地区はバスに乗れてこの地区はバスに乗れませんという形にしない予定であるが、事実上、最終バス停が学校から最も近いバス停となり、乗れる人と乗れない人の境は出てしまう。考え方として、自宅から学校又はバス停までの距離を比べて学校に行くほうが近い場合は、徒歩で通学するといったことを検討していただきたい。最終的にバス停が決まった後、通学路等を検討していく。お子さんがバスに乗るか、徒歩か調査し、バスの乗車人数、通学班等を確定させていく作業を進める予定である。

(部会員4) 同程度の距離で中学生が自転車、小学生が徒歩という状況が起きるのもいかなものかと考えていたため、そのように進めていただきたい。

(事務局) 中学生の自転車通学は学校の規則に係る部分であるが、部活があり、帰りが遅くなるなどの事情を踏まえて通学方法を検討していくことになると考えられる。

(部会員1) あそ野や葛生義務でここから先の人はバスに乗れないといった課題は改善されているのか。

(事務局) 現在と同様、通学部会で改善点を協議し、決定した。あそ野も葛生も設定されたバス停まで来れば乗れる形で運用している。

(部会員1) こどもがあそ野に通っている知り合いから3km少し超えたあたりだから乗れないという話を聞いた。

(事務局) 当初、あそ野は最終バス停の位置を小学生4km、中学生6kmの位置で検討し、3km円周辺は対象外という考えであった。その後、通学部会で協議を進めていく中で山道や明かりがない等の事情で最終バス停が3km程度に緩和されたケースがあった。ただし、条件が緩和されてもバス停までの距離の関係で実際には乗れないお子さんがいることに対してご理解いただきたい。

	<p>(部会員５) 次回の会議で乗降場所の提案があるが、希望で行きたいことも多かった場合、状況に応じてバスの台数や乗降場所が増えるのか。</p> <p>(事務局) まず、バス停を設置することが先である。事務局も周辺に住んでいるお子さんの数を想定しているが、自宅からバス停までかなり離れた距離から乗りたいというケースも出てくることが考えられる。お子さんの通学方法を把握し、バスに乗る人数分の台数は確保しなければならないと考えている。</p> <p>(部会員２) 仮にバスに乗り遅れた時や雨天の場合、かえで義務教育学校の保護者送迎は可能か。</p> <p>(事務局) 学校の規則に係る部分であり、現在、先生方で検討している段階である。そのような意見がでたことは申し伝える。</p> <p>(部会員１) バスは学校に到着したら敷地内で乗り降りする認識でよろしいか。</p> <p>(事務局) そのとおり。路上で乗り降りはしない。</p> <p>(部会員１) バス以外の車も学校の敷地に入ることはできるのか。</p> <p>(事務局) バスと一般車の入り口は分けることを想定している。バスはロータリーを設置する。一般車は北門から駐車場に入る想定である。</p> <p>(部会員１) 登下校以外のバスロータリーの活用はどうなるのか。</p> <p>(事務局) 学校の運用次第になるが、おそらく安全のため、門を閉めると考えられる。ロータリーは、国道５０号沿いに半円型にする予定である。</p> <p>・第３回会議で乗降場所の具体的な候補地について事務局から提案し、事務局の案を基に乗降場所を検討する。</p> <p>４ その他</p> <p>５ 閉 会</p>
--	--